

令和元年台風第19号水害

田の浜地区復旧方針・ 復旧整備計画を策定



昨年10月12日から13日にかけて東日本を縦断した台風第19号は、本町に未曾有の豪雨をもたらし、田の浜地区では、準用河川女川上流部からの大規模な土石流に見舞われ、排水施設の閉塞などにより118棟（81世帯）におよぶ大規模な浸水被害が発生しました。

町では、田の浜地区の復旧にあたり、水害検証委員会からの提言や地域住民からの意見・要望を踏まえ、復旧方針・復旧整備計画を策定しました。今号では、復旧方針・復旧整備計画の概要を紹介します。

策定までの経緯

立ち上げ、今年3月には、同委員会から復旧方針に関する提言を含む検証報告を受けました。これを受け町では、5月21日に住民説明会を行い、地域住民からの意見・要望を踏まえ、復旧方針・復旧整備計画を策定しました。

町では、復旧に先立ち、防災緑地公園との因果関係を含む浸水被害の要因分析を行うため、令和元年11月に専門家や関係機関で構成する水害検証委員会を

田の浜地区復旧方針・復旧整備計画を策定

復旧方針



①田の浜地区の航空写真

②田の浜地区の被害の様子西側

③田の浜地区の被害の様子北側

④被災後のボランティア活動の様子

復旧方針は、水害被害からの1日も早い復旧を目指すため、災害に強い強靭な地域づくりの方向性とその実現に向けた各種対策をとりまとめたものです。町では、田の浜地区令和元年台風第19号水害検証委員会からの提言などを踏まえ、次に掲げた

基本方針に基づき田の浜地区的防災性強化を進めていきます。

地区の防災・減災ビジョン

山と海に向き合い共に築く安全・安心な郷土

◎基本方針1 準用河川女川の排水機能の強化を図ります。既往最大雨量に対応した流下

◎基本方針2 土石流対策の強化を図ります。大規模な土石流の発生が懸念される沢部に砂防堰堤の整備を行います。また、排水施設への土砂などの流入を防止するための対策や防災緑地公園の改良整備を進め、土砂災害リスクの低減を図ります。

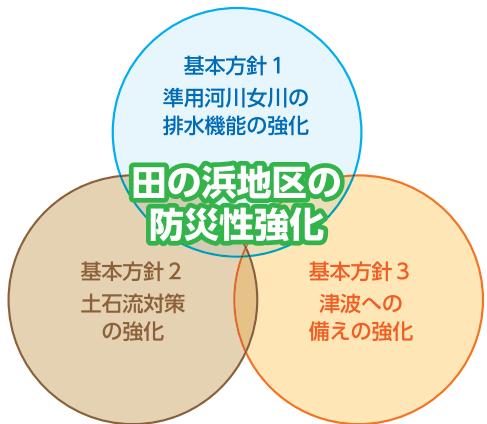
◎基本方針3 津波への備えの強化を図ります。防災緑地公園に東日本大

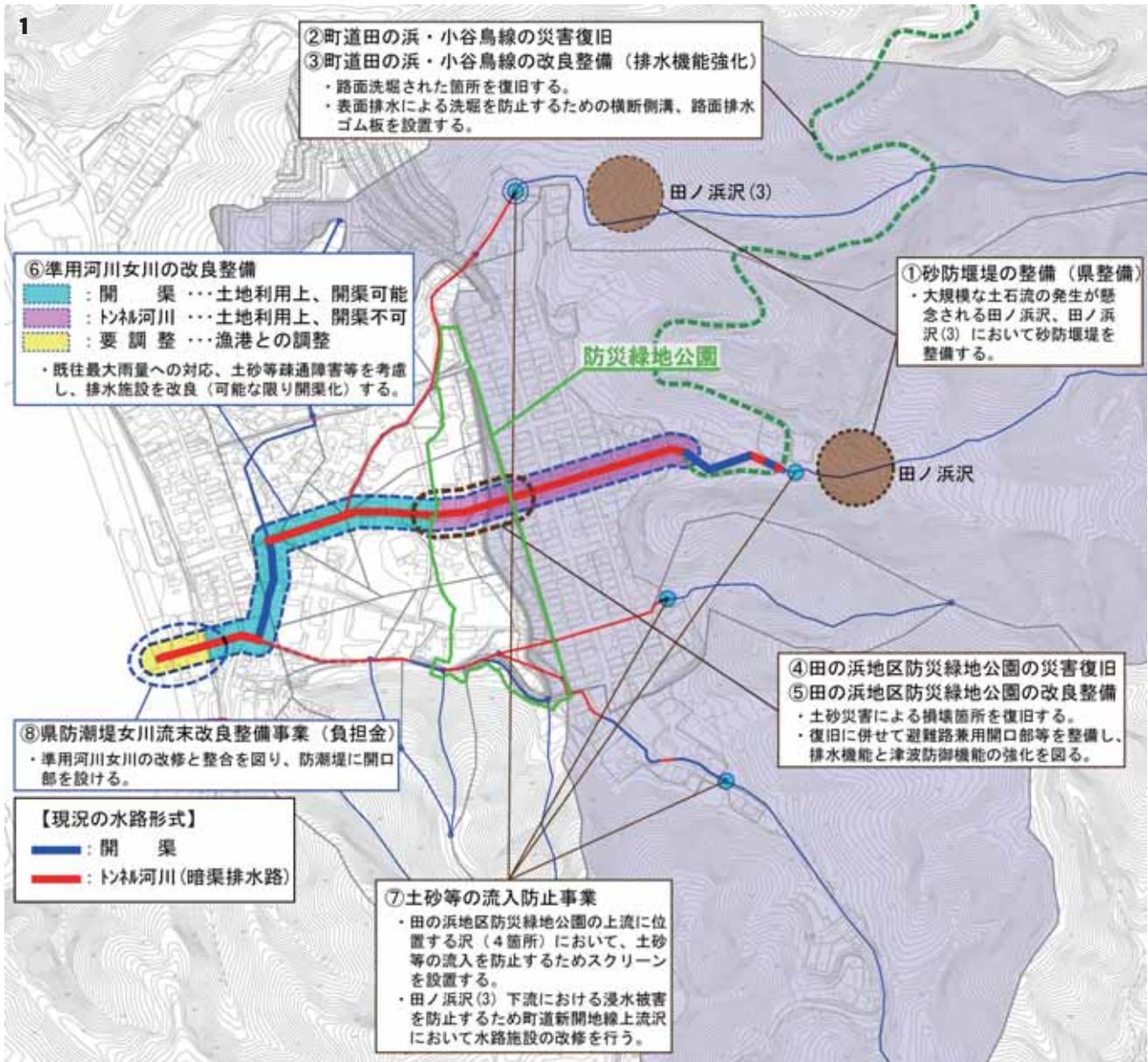
能力を備えるとともに、防災上のリスクを低減するため、主要な排水施設である準用河川女川の排水機能の強化を図ります。

震災レベルの津波に対する防御機能を維持すると共に、津波に対する低地部からの避難路の機能強化を図ります。

◆復旧方針策定までの経過◆

	期 日	主 な 動 き
令和元年	11月28日	田の浜地区台風第19号水害検証委員会の立ち上げ
	12月 2日	田の浜自治会が町へ要望書を提出
令和2年	3月24日	田の浜地区台風第19号水害検証委員会が町へ報告書を提出 町議会全員協議会(報告書の内容について)
	3月27日	田の浜地区台風第19号水害検証結果等に関する住民説明会(自治会役員対象)
	5月21日	田の浜地区台風第19号水害検証結果等に関する住民説明会(地域住民対象)
	6月 5日	町議会全員協議会(住民説明会の開催状況などと復旧方針・復旧整備計画(案)について)





田の浜地区防災緑地公園の改良整備計画

被災した防災緑地公園の復旧にあたっては、水害検証委員会からの提言を受け、町議会全員協議会や住民説明会などを通じて合意形成を図ってきました。その結果、町議会や地区住民からの意見・要望を踏まえ、次の機能を備えた改良整備を進め方針としたものです。

◎排水施設の能力超過時に対応した排水機能

山側からの異常出水などに対応するため、防災緑地公園の土堤部中央に避難路兼用の開口部（6.0m程度）を設けます。

◎東日本大震災クラスの津波に対応した防護機能

防災緑地公園の土堤部中央の開口部には、陸閘（ゲート）を整備し、閉鎖することで最大クラスの津波から高台住宅地の浸水を防げるようになります。

▽計画期間
令和2年度～5年度の4年間

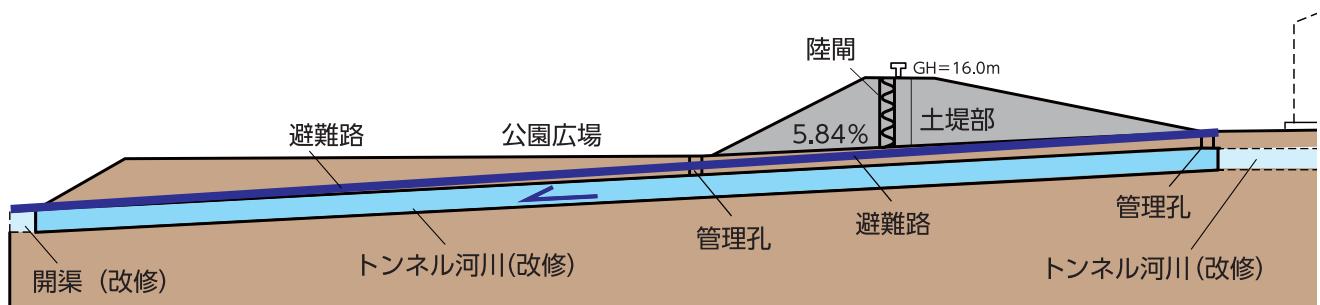
▽対策推進プログラム
上記の対策推進プログラムに基づき、復旧および防災性強化に向けた事業を推進します。

復旧整備計画

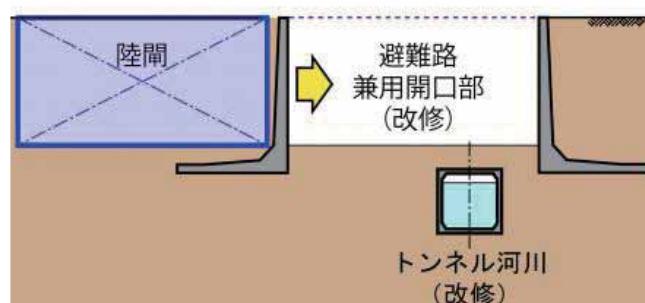
田の浜地区復旧方針・復旧整備計画を策定



3



4



- 1 復旧整備計画の対策推進プログラム
- 2 防災緑地公園平面図
- 3 防災緑地公園側面図
- 4 防災緑地公園陸閘断面図
- 5 防災緑地公園陸閘C Gイメージ